ようかい え まき

妖怪絵巻

尾田 淑 筆 天保3年(1832) 紙本著色·巻子装 25.6cm×1850.0cm 松井文庫所蔵

58種の妖怪を一体ずつ名称入りで描いたいわゆる「妖怪図鑑」。このような図鑑的性格をもつ妖怪絵巻は、江戸時代の中頃(18世紀)から作られるようになったが、本品は江戸時代後半(19世紀)のもの。既存の妖怪絵巻や絵本などを参考に作成されたものと考えられる。作者の尾田淑については詳しいことはわからないが、八代城主松井家のお抱え絵師と考えていいだろう。とすれば、この絵巻は、八代の殿様たる松井氏が作成させた妖怪図鑑ということになる。八代の殿様は時おり妖怪図鑑をながめては、現実の世界を離れ、異界に思いをはせていたに違いない。



22 幽谷響(やまびこ)

21 姑獲鳥(うぶめ)

18 ?

19 じゅうじゅう坊

20 五体面(ごたいめん)



58 狸の腹鼓(たぬきのはらづつみ)